

令和6年度 通常総会・資料

ながの環境パートナーシップ会議

日時:令和6年6月 27 日(木)午後6時～

場所:長野市ふれあい福祉センター5階大ホール

ながの環境パートナーシップ会議通常総会次第

日時：令和6年6月27日

1 開 会

2 議 事

【第1号議案】

(1) 令和5年度活動報告について

- ①ながの環境パートナーシップ会議の活動概要 (P 1)
- ②プロジェクトチームの活動報告 (P 6)

プロジェクト名		R5 活動報告 ページ	R6 目標・活動 計画等 ページ
①	生ごみ削減・再生利用	7	25
②	市民の森づくり	8	26
③	太陽エネルギー普及促進	-	-
④	(R5) ながのカーボンオフセット (R6) 雑がみアート	-	27
⑤	松代オオムラサキの里	9	28
⑥	ゴマシジミ保護・育成	10	29
⑦	田中さくら公園作り&里山づくり	11	30
⑧	若槻廃食用油回収	12	31

(2) 令和5年度収支決算報告について (P 13)

(3) 令和5年度監査報告について (P 20)

【第2号議案】

(1) 令和6年度運営方針(案)について (P 21)

(2) 令和6年度活動目標・活動計画(案)について (P 24)

(3) 令和6年度収支予算(案)について (P 32)

【第3号議案】

(1) 理事の選任について (P 33)

3 閉 会

令和5年度ながの環境パートナーシップ会議活動報告書

活動の概要

令和5年度は、本会の行動指針である「アジェンダ 21 ながの環境行動計画」を改正し、持続可能な社会を目指した環境保全を推進するとともに、長野市の環境ビジョンの実現に向け「つなぐ・伝える・実践する」を行動指針とし、プロジェクト、広報活動などに取り組みました。

また、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更となり、様々な行動の制約が解除されたことから、本会の主催による交流イベントとして「環境活動発表会」を開催し、市内の中高校生と各プロジェクトチームが、それぞれの環境活動について発表しました。若い世代と本会員が互いの環境活動について理解を深め、今後の活動に活かしていく良い機会となりました。

1 各プロジェクトの活動

(1) 令和5年度の各プロジェクトの取り組み

①	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	活動報告書のとおり
②	市民の森づくりプロジェクト	活動報告書のとおり
③	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	休会
④	ながのカーボンオフセットプロジェクト	休会
⑤	松代オオムラサキの里プロジェクト	活動報告書のとおり
⑥	生態系豊かな、水に親しめる川づくり	R6.2 終了
⑦	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	活動報告書のとおり
⑧	田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト	活動報告書のとおり
⑨	若槻廃食用油回収プロジェクト	活動報告書のとおり

(2) プロジェクトサポーター制度について

3つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

【協働事業の状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名
生ごみ削減・再生利用	日本無線株式会社
松代オオムラサキの里	コマキ工業株式会社
	中澤勝一建築株式会社
	信州塚田土建有限会社
若槻廃食用油回収	直富商事株式会社

(3) 信州大学工学部「地域環境演習Ⅰ」の受け入れ

信州大学工学部の「自分でPDCAサイクルを機能させて行動できる人材」の養成を目指し実施する「地域環境演習Ⅰ」の受講生を、各プロジェクトチームで受け入れ、協働による環境活動を行いました。

また、令和5年9月16日（土）には、参加学生による活動成果発表会が行われました。

【受入チーム】生ごみ削減・再生利用プロジェクト、松代オオムラサキの里プロジェクト

2 ながの環境パートナーシップ会議全体での活動

(1) ボランティア活動中の保険に関する研修会

「ボランティア活動保険」の引受損害保険会社である損害保険ジャパンの担当者を招き、「活動保険」並びにその他のリスクに対する保険について説明する研修会を開催しました。

【開催日時】2023（令和5）年9月22日（金）18：00～19：00

【会 場】長野市ふれあい福祉センター 4階会議室

【主 催】ながの環境パートナーシップ会議

【参加者数】13名

【プログラム】

10：00 開会・挨拶

18：05 講演

・損害保険ジャパン株式会社長野法人支社 支社長代理 中屋 健太 様

18：25 質疑応答

19：00 閉会

(2) 環境活動発表会

市内の中高校生と各プロジェクトチームが、それぞれの環境活動について発表しました。

【開催日時】2024（令和6）年2月23日（祝・金）10：00～12：00

【会 場】長野市ふれあい福祉センター 5階大会議室

【主 催】ながの環境パートナーシップ会議

【参加者数】74名

【プログラム】

10：00 開会・挨拶

10：05 中高生による活動発表

・信州大学教育学部附属長野中学校「ザリガニバスターズ」

アメリカザリガニの殻をチョークとして利用する取り組みについて

・長野県長野工業高等学校「課題研究グループ（卒業研究）」

長光プロジェクト～携帯トイレの自販機と山小屋常時換気システムの製作～

・長野県松代高等学校「one team」

2023 スポGOMI 甲子園に参加して

11：05 休憩

11：15 プロジェクトチーム活動報告

・生ごみ削減・再生利用

・市民の森づくり

・松代オオムラサキの里

・ゴマシジミ保護・育成

・田中さくら公園づくり&里山づくり

・若槻廃食用油回収

12：00 閉会

【共催団体】長野市地球温暖化防止活動推進センター

3 広報

(1) ホームページの運用

- ・ イベント等の予定及び活動報告などを掲載
- ・ ホームページのリニューアルを実施

(2) 令和4年度活動成果報告書「手をむすんで」を発行

ニュースレター「手をむすんで」に代わる本会の活動を情報発信していくため、新たに令和4年度のながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書「手をむすんで」を発行し、会員や関係機関にPRしたほか、新規会員の勧誘時に活用いたしました。

【規格】表紙4P 本文16P 中綴じ仕上げ

【内容】ながの環境パートナーシップ会議の案内、活動成果報告、信州大学工学部地域環境演習報告

(3) 公式X(旧Twitter)の活用

公式Xの運用を開始し、会員以外の方にも情報発信を行いました。

4 他団体との連携

(1) 活動の連携

【生ごみ削減・再生利用プロジェクト】

長野市生活環境課と定例会にて協議フォロー、キッズ生ごみ農園のイベント補助等で協働しました。

【ゴマシジミ保護・育成プロジェクト】

長野市開発公社と長野市霊園での保護活動で協働しました。

浅川小学校とワレモコウの育苗・植栽で協働しました。

(2) 信州環境フェアに参加協力

活動紹介のパネル展示を行うなどにより環境活動をPRしました。

【開催日時】令和5年7月29日(土) 午前10時～午後4時30分

【会場】長野市芸術館

【参加者数】1人

(3) ながの環境フェアに参加協力

生ごみ削減・再生利用プロジェクトが出店したほか、活動紹介のパネル展示を行うなどにより環境活動をPRしました。

【開催日時】令和5年9月24日(日) 午前10時～午後2時30分

【会場】長野市リサイクルプラザ

【参加者数】4人

(4) 長野市環境子どもサミットに参加協力

本会は、主催者である同サミット実行委員会の構成メンバーとして、運営の一翼を担いました。

【開催日時】令和5年10月29日(日) 午前10時～正午

【会場】長野市勤労者女性会館しなのき

【参加者数】1人(実行委員として)

(5) 長野エコ活動推進本部主催の街頭啓発に参加

食品ロス削減を呼びかける街頭啓発に参加しました。

【開催日時】 令和5年10月27日（金） 午前7時30分～午前8時

【会 場】 JR長野駅前

【参加者数】 1人

(6) 他の環境団体等への周知

令和4年度活動成果報告書「手をむすんで」やパンフレットを個人や事業所などに配付をしました。

5 会議

(1) 通常総会

【開催日時】 令和5年6月29日（木）

【会 場】 長野市ふれあい福祉センター 5階大会議室

【議 事】

- ・令和4年度活動報告、収支決算報告、監査報告について
- ・アジェンダ21 ながのの改正について
- ・令和5年度運営方針（案）、活動目標・活動計画（案）、収支予算（案）について
- ・会則、会費規程の改正について

(2) 理事会

ながの環境パートナーシップ会議の運営等について協議するため、理事会及びプロジェクトリーダーとの合同会議を計10回開催しました。

回数	開催日時	参加者数	備考
第1回	6月20日（火） 18:00～	9人	
第2回	7月25日（火） 18:00～	9人	
第3回	8月24日（木） 18:00～	8人	
第4回	9月22日（金） 18:00～	14人	合同会議
第5回	11月24日（金） 18:00～	6人	ミーティング
第6回	12月21日（木） 18:00～	7人	
第7回	2月15日（木） 18:00～	7人	
第8回	3月21日（木） 17:30～	12人	合同会議
第9回	4月19日（金） 18:00～	8人	
第10回	5月23日（木） 18:00～	14人	合同会議

(3) 各プロジェクトチームのミーティングの開催

各チームで随時開催しました。

6 市政等への参画

審議会等名称	会員名
長野広域連合広域計画策定委員会委員 長野市地球温暖化防止活動推進センター運営委員 長野エコ活動推進本部理事 豊かな環境づくり長野地域会議運営委員 長野市廃棄物減量等推進審議会委員 長野広域連合ごみ処理手数料審議会委員	河西 弘明
長野市環境審議会委員	赤羽 和春 (～R6.3.31)
	倉又 保雄 (R6.4.1 ～)
長野市健康増進・食育推進審議会委員	小山 清子
長野市環境子どもサミット実行委員会委員	小山 勝宏

7 その他

(1) 寄附

令和6年1月26日、長野卸売市場協同組合様から本会へ寄附金の贈呈がありました。

【内 容】長野卸売市場内の約80の事業所で作る同組合は、市場内で出た古紙を原料にトイレトーパーを製造し、各事業所に販売しています。このたび、同組合からこのトイレトーパーの売上金の一部を市内の環境保全活動に役立ててほしいと本会に寄附していただきました。

【寄附金額】53,800円

(2) 会員

令和6年5月末現在の会員数：115（令和5年5月末：134）

(3) ながの環境パートナーシップ会議への年間活動参画者数

平成25年度： 3,638人
 平成26年度： 3,566人
 平成27年度： 3,766人
 平成28年度： 4,112人
 平成29年度： 4,629人
 平成30年度： 4,842人
 令和元年度： 4,588人
 令和2年度： 1,814人
 令和3年度： 1,805人
 令和4年度： 1,799人
 令和5年度： 2,304人




令和5年度活動報告書

ながの環境パートナーシップ会議 [総括表]






ビジョン	山にみどり・川に清流・谷に風・空の星 自然と和して発展するまち・人の暮らし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの		
基本方針	環境問題に関わる人や団体を結び(つなぐ)、情報を共有する(伝える)し、共に活動(実践する)する役割を担うことにより、環境保全に向けたネットワークを築き、地球環境問題へと視野を広げながら、地域から地球規模に広がる環境保全活動を推進し、環境ビジョンの実現を目指していく。		
活動方針	①アジェンダの推進 ②協働の拡大と連携強化 ③環境活動に関する情報拠点化 ④民間団体助成金の活用を推進		
実施プロジェクト等	① 生ごみ削減・再生利用プロジェクト ② 市民の森づくりプロジェクト ③ 太陽エネルギー普及促進プロジェクト ④ ながのカーボンオフセットプロジェクト ⑤ 松代オオムラサキの里プロジェクト ⑥ ゴマシジミ保護・育成プロジェクト ⑦ 田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト ⑧ 若槻廃食用油回収プロジェクト	※会員数:13 会員数:14 会員数:6 会員数:1 会員数:36 会員数:1 会員数:10 会員数:5	
	※事業者・団体の会員数は1と数える。また、複数のプロジェクトに所属している者は両方で数えるので、全体の会員数とは一致しない。		
活動実績	実施期間	内容	人数
	R5.6~R6.5	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	548
	R5.6~R6.5	市民の森づくりプロジェクト	148
	R5.6~R6.5	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	-
	R5.6~R6.5	ながのカーボンオフセットプロジェクト	-
	R5.6~R6.5	松代オオムラサキの里プロジェクト	858
	R5.6~R6.5	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	128
	R5.6~R6.5	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト	126
	R5.6~R6.5	若槻廃食用油回収プロジェクト	274
	R5.9.22	ボランティア活動中の保険に関する研修会	13
	R6.2.23	環境活動発表会	74
	R5.6.29	令和5年度通常総会	24
	R5.6~R6.5	理事会	94
	R5.7.29	信州環境フェア	1
	R5.9.24	ながの環境フェア 実行委員会及び本番	7
	R5.10.27	長野エコ活動推進本部 街頭啓発	1
	R5.6~R6.3	長野市環境こどもサミット 実行委員会及び本番	6
	R5.6~R6.3	信州大学工学部 地域環境演習(学生数はプロジェクト報告に含む)	2
	R5.9	X(旧Twitter)運用開始	
	R6.2	令和4年度活動成果報告書「手をむすんで」発行	
R6.5	ホームページのリニューアル		
	一年間の活動・参加者数		2,304
成果・課題	<<活動の成果>> ・プロジェクトの推進。 ・ボランティア活動中の保険に関する研修会を開催した。 ・環境活動発表会を開催し、市内の中高校生と各プロジェクトチームが、それぞれの環境活動について発表しました。若い世代とP会議会員が互いの環境活動について理解を深め、今後の活動に活かしていく良い機会となりました。 ・活動成果報告書「手をつないで」を発行し関係団体へのPRや新規会員の勧誘時等で活用した。 ・ホームページをリニューアル。 ・X(旧Twitter)を利用した情報発信を行った。 <<今後の課題>> ・会員の減少、高齢化による活動力の低下が顕著となっていることから、情報発信を強化して事業者を含む新規会員の勧誘を促進し、活動の活性化につなげていきたい。	・令和6年5月末現在の会員数:115 うち個人:91、事業者・団体:24 (令和5年5月末現在の会員数:134) ・ながの環境パートナーシップ会議の活動への参画者 平成24年度: 4,176人 平成25年度: 3,638人 平成26年度: 3,566人 平成27年度: 3,766人 平成28年度: 4,112人 平成29年度: 4,629人 平成30年度: 4,842人 令和元年度: 4,588人 令和2年度: 1,814人 令和3年度: 1,805人 令和4年度: 1,799人 令和5年度: 2,304人	

令和5年度活動報告書		プロジェクト名		生ごみ削減・再生利用チーム		  			
理想の街	①市民一人ひとりが生ごみの削減・再生利用につとめ、排出量は以前と比べ大幅に減っているまち ②生ごみの排出量が大幅に減り、再生利用システムの推進、可燃ごみが大幅に減少しているまち ③地域ごとに多くの市民が生ごみの減量化と再生資源化に取り組む地域循環型のまち								
数値目標	①可燃ごみに占める生ごみの割合は、目標が35.0%である。2020年実績38.0% (内食品ロス10%) ②自治協主催の生ごみ減量講座参加人数が52名であった。 ③キッズ生ごみ農園クラブの登録年間家族会員数が22家族31名であった。 ④ミズコンポストと堆肥製造場により、生ごみ堆肥約1,000tを製造し農園の野菜作り等に活かした。								
行動計画	①生ごみ削減の啓発キャンペーンは、環境フェアの展示が縮小され、農作物の販売中心になった。 ②市生活環境課とみどりの市民の協力による自治協主催の生ごみ減量講座を2回実施した、 ③「キッズ生ごみ農園クラブ」は、生ごみ堆肥を製造し野菜作りに活し、会員に出来た堆肥や野菜などを配布し、子供食堂などにも無償提供した。 ④キッズ生ごみ農園クラブの看板製作と会員のポイント制導入を信大生「地域環境演習」の協力により実現できた。 ⑤幼少児を持つ30代の親子の会員が増えてきたので、食と農と環境を基本にした「ミズの学校」プログラムを作成し、リーフレットの形に仕上げたい。								
活動計画	①地域の生ごみ減量啓蒙活動は、「生ごみ実践減量講座」が安茂里自治協(24人参加うち学生3名)若槻自治協(28人参加)にて実施できた。アモーレフェスタでは展示と野菜の販売が出来た。 ②キッズ生ごみ農園クラブの会員は、日本無線の10口加入を含め家族数は22で、活動参加人数は延べ257人でした。 ③ミズコンポストと木枠の堆肥場により約1,000t製造し、野菜等の栽培種が増やせた。 ④信州大学工学部「地域環境演習Ⅰ」の学生3名を受け入れ、生ごみ堆肥化講座やキッズ生ごみ農園クラブの活動に動員できた。								
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数	
実	6	3～29	農作業・生ごみ研修会&講習会 玉ねぎ麦収穫祭・定例会は毎月	56	12	6～28	農作業・耕運・青菜と紫豆収穫 麦ソルガムの精製・大豆脱穀	37	
	7	2～30	農作業・ライ麦収穫・脱穀作業 ジャガイモ収穫祭・堆肥化講座	79		6～28	麦踏み・野焼き・堆肥切り返し 木彫り看板の板と支柱加工		
	8	5～29	農作業・枝豆スイカ収穫・耕運・ 野焼き・苗床作り・生ごみ堆肥作り	54	1	2～31	木彫り看板文字掘り・穴掘り設置 冬野菜にミズ液肥散布	51	
	9	2～24	農作業・水やり・苗植え・種まき 草刈り・環境フェア出店・	26		2～31	麦踏み・野焼き・ライ麦粉製粉 トマト・ナスの温室種まき		
	績	10	1～29	農作業・草刈り・ソルガム収穫 脱穀・トウミ掛け・菊芋など掘り アモーレフェスタ展示販売	44	2	2～25	わらづと納豆作り講習会 燻炭作り・ポイントカード作り	54
		11	4～27	農作業・草取り・苗植付け・大豆 干し・葉物野菜収穫・ミズ養生 大根収穫祭豚汁味わう会 生ごみ堆肥に落ち葉投入	46		3	6～31	お祓い・農作業・果樹移植 看板落成式・麦踏み・堆肥作り
						4	2～30	耕運・種ジャガイモ植付け 水汲み・水まき・追肥・草刈り	48
	成果課題	<p>一年間の活動・参加者数</p> <p>548</p> <p>《活動の成果・課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果としては、日本無線(株)の10口加入と新規家族会員の加入で幼小児童の参加があり、生ごみ持参による早期からの環境教育が期待できた。それは、生ごみ堆肥の作製と共に農作物の栽培に活かすことを、見て、育てて、味わっていただけたことです。特にミズコンポスト1号機を活用し、出来た生ごみ堆肥をキッズ生ごみ農園や一坪農園に活用し、また、自宅で利用する人にも提供できるようになり、食と農の循環システムが動き出し8年が経過しました。 ・一方で生ごみ堆肥化の啓蒙活動や収穫祭の参加者は、関係者のみで行い一般参加はコロナ対策のため見送った。新規会員の積極的な勧誘はせず口コミに頼った。 ・課題としては、特にチームの高齢者が苦手なSNSやインターネットによる情報発信を信大生とどのようにコラボしたら良いかというのが課題です。 ・環境だけでなくSDGsの観点から、生ごみを減らす生活が持続可能な社会に繋がることを伝えたい。 <p>《サポーター企業との活動》</p> <p>コロナ対策もあり特に活動は行いませんでした。</p>							
	長野市協力課等	取組内容							
	生活環境課	定例会にて協議、ながの環境フェア・キッズ農園のイベント補助など							

令和5年度活動報告書		プロジェクト名		市民の森づくり		  		
理想の街	四方を山に囲まれた長野市には手入れされた里山があり、そこには多様な動植物が暮らす豊かな森がある。人々はこの里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるまち							
数値目標	前年以上の市民、他団体との連携を図る 市民の森づくりに200人以上の参加者を得る 安全作業に徹し、“ゼロ災”とする							
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、多くの人に参加してもらい、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、など多様性に富んだ活動を行い、また活動の広がりの検討を重ねる。 ・地元住民との交流や多くの他団体、個人、事業者との連携を図る。 ・活動再開に当たっては、安全対策の再検討を実施、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。 							
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備(6～12月、4、5月) ・秋の里山散策(10月) ・工作体験、自然観察(8月、10月) ・里山遊び(かんじき体験)(2月) ・きのこの駒打ち体験(4月) ・事業者、他団体との協力、連携を図る 							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	6	10	森林整備作業	8	11	20	定例打合せ	4
	6	25	森林整備作業	7	11	26	森林整備作業	5
	6	25	総会	12	12	10	かんじき準備	4
	7	8	森林整備作業(雨天中止)		2	10	製材機小屋の雪下ろし	5
	7	23	森林整備作業	7	2	17	かんじき体験会	15
	7	27	定例打合せ	4	4	13	きのこの駒打ち準備	5
	8	5	森林整備作業	5	4	20	きのこの駒打ち	6
	8	27	森林整備作業	10	4	25	定例打合せ	4
	8	31	定例打合せ	5	5	11	森林整備作業	6
	9	9	森林整備作業	8	5	26	森林整備作業	6
	9	21	定例打合せ	4				
	10	14	森林整備作業	8				
	10	26	定例打合せ	4				
10	29	森林整備作業	2					
11	11	森林整備作業	4					
実績	一年間の活動・参加者数						148	
成果	≪活動の成果≫ 前年度から活動再開となったものの、活動休止前まで行っていたイベント等を再開することが出来ず、参加者数は低調のまま。							
課題	≪今後の課題≫ 活動再開に当たって、より一層安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業を進める。 活動参加者の固定化傾向にある中、更なる活動の広がりや、活動の多様性を考えると会員数の増加は必要である。活動内容の再検討、他のチーム等との協力など、活動の広がり、多様性については今後の検討課題とする。							
サポーター企業との活動	なし							
長野市協力課等	取組内容							

令和5年度活動報告書		15	17						
プロジェクト名	松代オオムラサキの里								
理想の街	オオムラサキの里(竹ノ入)の学習林としての環境整備を進めて30年近くになり、当初の目的に近づいてきた。各学校の総合学習、コミュニティスクールを通じて環境教育の啓発に学校から認められてきている。近隣の住民からも環境整備の応援を頂くようになった。オオムラサキ・ジャコウアゲハ・アサギマダラ・アゲハチョウなど随時観察できる環境になってきている。癒しの森として次世代につなげた								
数値目標	里山の生物全体の育成環境整備に努めカブトムシ・クワガタムシの発生を促す。また、フクロウの生息が確認できたので巣箱をかけて定着をはかる 自然観察道の整備を行い、自然観察の啓発活動の場として活用する。 活動参加のべ人数は、700人以上を目指す。								
行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 竹ノ入に生息する生物の調査用に設置したセンサーカメラの活用を継続して行う。 2. カブトムシ・クワガタムシの育成床を設置し、育成環境を整備する。 3. 生物の頂点にいるフクロウの定着を促すため巣箱を増設する。 4. 巨木になったエノキの間伐をして空間を増やし、光が入る明るい森にする。迷惑木、外来種のニワウルシの除伐をさらに進める。 5. 各小学校に設置したオオムラサキ育成塔の整備を図り随時観察できる環境づくりをしてきた。子供たちが関心をもつような誘引施設の拡充と定着を図る。環境教育の原点はここにあると思う。 								
活動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オオムラサキ観察会の実施 2. 竹ノ入に生息する生物の調査。 3. カブトムシ・クワガタムシの育成床の設置。 4. 生物の頂点にいるフクロウの定着を促すため巣箱を増設。 5. 巨木になったエノキの間伐をして空間を増やし、光が入る明るい森にする。 6. 各小学校に設置したオオムラサキ育成棟の整備。 7. 自然観察道の整備を行う。 								
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数	
動	6	1	竹ノ入 整備作業	4	10	21	竹ノ入整備	10	
	6	4	竹ノ入 整備作業	16	10	26	住自協発表	5	
	6	7	豊栄小授業に参加	12	11	9	竹ノ入整備	6	
	6	11	オオムラサキ観察会準備	6	11	21	幼虫調査	8	
	6	13	オオムラサキ観察会準備	7	11	22	竹ノ入整備	7	
	6	16	まきば保育園観察会	43	12	10	信大生と打合せ	9	
	6	20	小学校飼育舎整備	18	1	21	信大生と打合せ	5	
	6	28	東条小,清野小観察会	62	2	16	ハンドブック最終確認	6	
	6	30	西条小,寺尾小観察会	52	2	17	樹木伐採	6	
	7	2	一般市民対象観察会	154	2	23	P会議活動発表	8	
	実	7	1	松代小, 豊栄小観察会	79	3	10	樹木剪定	14
		7	10	まきば保育園観察会	46	3	14	竹ノ入整備	7
		8	5	ヤマトタマムシ観察	5	4	11	まきば保育園 来園	61
		9	16	信州大学地域環境演習発表会	6	4	18	小学校5校に幼虫配布	166
9		23	定期総会	16	4	20	竹ノ入整備	7	
10	11	助成金対応打合せ	7						
績	活動・参加者数							858	
成果課題	<p>《活動の成果・課題》</p> <p>かねてより計画していた自然観察道が完成した。安心・安全な自然観察の場になるよう、今後も活用していく。</p> <p>学校が総合学習・コミュニティスクールの時間で利用して頂けるようになった。近くのまきば保育園が随時園内に入り利用していただけるようになり自然保護教育の一助になってきている。</p> <p>フクロウの巣を設置したが、未だ営巣には至らない。引き続き整備を行う。</p> <p>高齢者集団の中に若い集団が参画しやすい組織のありかた、雰囲気作りに取り組む遊び心が必要である。</p>								
《サポーター企業との活動》	信州塚田土建有限会社に、竹ノ入整備の作業をして頂きたい。								
長野市協力課等	取組内容								

令和5年度活動報告書								
プロジェクト名		ゴマシジミ保護・育成プロジェクト				 		
理想の街	「元気なふるさと浅川を創生する」を目標に、浅川地区での地域資源の見直しと地域住民の意識の高揚を図り、地域活動への参画意欲を高めるため、浅川地区まちづくり計画を策定し、現在、各種事業を展開している。その事業の一環として地区内に生息が確認されている県指定希少種の蝶「ゴマシジミ」の保護・育成活動を地域住民と協働で実施し、「ふるさとの魅力を自然の豊かさで体験できる環境整備」の推進を図っていく。また、ゴマシジミ情報をより広く発信していきたい。							
数値目標	行事数 4 参加人数 70名							
行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 温暖化による絶滅危惧種ゴマシジミの絶滅防止のための、保護・育成対策 2. 自然環境の見直しと、さらなる環境の向上(ワレモコウの増殖) 3. 人的な環境破壊の防止と対策(密猟者、現地環境変化への対応) 4. ゴマシジミ生息の重要性のアピールと保護活動の維持 							
活動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保護地区での密猟者対策として、早朝パトロールの実施 2. 浅川小学校児童・先生への啓発活動 児童へ ワレモコウの育成、ゴマシジミの紙芝居上演、遠足による現地視察 先生へ 講師によるゴマシジミ説明会 3. 保護地区へのワレモコウ移植 							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	8	16	密猟者のパトロール開始～	22				
	9	5	密猟者のパトロール終了					
	9	2	信州昆虫学会大会に参加(松本)	2				
	9	3	大阪公立大学・上田准教授に協力(長野市霊園にて調査)	4				
	10	27	浅川小学校 遠足で現地見学視察	50				
	11	2	浅川小学校児童へ紙芝居上演	50				
	11	2	校内花壇のワレモコウ移植作業					
実績								
績	一年間の活動・参加者数						128	
成果課題	<<活動の成果・課題>> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絶滅危惧種ゴマシジミの生息情報は、一般市民にはあまり知られていない 2. ゴマシジミ生息、繁殖に対する対策は、手探りな状態である 3. 絶滅危惧種指定のゴマシジミの保護育成の具体的な計画が必要 4. メジャー的に知られる必要性と保護活動員の確保 5. 知られるが故、密猟者や観察者による、現地の環境の破壊も心配 							
<<サポーター企業との活動>>								
長野市協力課等			取組内容					
長野市開発公社			長野市霊園での保護活動					
浅川小学校			ワレモコウの育苗・植栽					

令和5年度活動報告書								
プロジェクト名	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト							
理想の街	若槻地区田中の桜公園作りを推進力に里山を里山らしく利用、保全を行う活動を展開することで、自然災害に強く、後継者も育ち定着する持続可能な地域作り・協力し支え合う地域・まち							
数値目標	「参加目標200名①草刈り②東屋づくりの推進計画立案検討③秋の公園祭りの計画④竹林の伐採推進⑤桜公園も含めての里山らしい里山づくり構想協議会開催」を構想したが、①④の推進は出来たが、②⑤は実施できず、また、③は④として日時を設け実施した。数値目標は60%達成。							
行動計画	「①月1度を最低に草刈り活動②東家づくり検討会の実現③秋の公園祭り〔作業含む〕の推進実現④竹林の伐採推進⑤里山らしい里山づくり構想協議会の実施から構想を練り上げる。その為にも、県の林務部に出席講座をお願いして学習も深める。」の計画中、①実施、③計画を④に含めて実施した。							
活動計画	①下草刈り役員による作業6月～10月(月1回から2回)③④秋の公園整備活動と竹林の伐採を行った。							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	6	4	草刈り	4	4	10	準備	4
		18	草刈り	4		12	前日準備	6
	7	2	草刈り	3		13	桜公園祭り当日	42
		16	草刈り	5		17	後片付け・返却作業	6
	8	6	草刈り	3				
		20	草刈り	4				
	9	3	草刈り	4				
		10	草刈り	4				
	10	1	草刈り	4				
		22	公園整備活動&竹の伐採活動	18				
	1	22	桜公園祭り計画協議1	4				
	3	30	桜公園祭り計画協議2	4				
	3	30	桜公園祭り計画協議3	4				
	3	28	チラシ作成	1				
	30	チラシ配布	2					
績	一年間の活動・参加者数							126
成果・課題	<p>《活動の成果・課題》コロナ禍影響でまだまだ地区他団体活動自粛傾向の中で、いつでも公園を散策できるように管理を続けたこと。また、自粛風を飛ばす桜公園祭りを開き、明るい交流が出来たこと。〔課題〕来年度計画では、昨年度出来なかった、お互い持っている構想・夢などを出し合い、計画化していくことが大切と考える。</p>							
《サポーター企業との活動》今年度出来なかったため、来年度はサポーター企業と協議の場を持ちたい。								
長野市協力課等				取組内容				

令和5年度活動報告書		12	17					
プロジェクト名	若槻廃食用油回収プロジェクト							
理想の街	地区内の各家庭で、処分が困っている廃食用油(天ぷら油)を資源として回収して、リサイクル処分業者に引き取ってもらう。 今や、廃食用油がジェット機の大事な燃料になる時代。脱炭素・地球温暖化防止に貢献し、SDGsの目標達成をめざします。							
数値目標	廃食用油回収 40L/月、500L/年							
行動計画	<p>回収要項は、以下の通りとし、メンバーが交代で立合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収日は、毎週土曜日 9:30～11:30 ・場所は、若槻団地自治会館内リサイクルハウス前に特設コーナーを設ける ・保管庫を用意する ・若槻団地内に限らず、近隣地区からの持ち込みも可能とする 							
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭から、各自任意の容器に入れて持参してもらう ・プロジェクトメンバーが当番制で立会、用意したペール缶(20L)に注入する(油かすを取除くため、油こし用特製金網をセット) ・持込御礼に、当面家庭用品の粗品(トイレトペーパー1巻き)を差上げる ・同時に住民に一層の周知を図るため、他品でリサイクルハウスに来た持込みに者に、チラシを配る(周知されるまで) ・作業終了後は、ペール缶を保管庫に保管・施錠する ・ペール缶が一杯になった段階で、業者に引き取りに来て貰う 							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	6	10	試行期間として、回収開始					
			以降、毎土曜日回収					
			8月末まで計12日 平均4人	48				
	9	2	回収本番スタート					
			以降、毎土曜日回収					
			9月～5月末まで計33日 平均5人	171				
	6月～4月		メンバー5人での定例打合せ会					
			毎月第1水曜日					
			6月～4月末まで計11日	55				
実績	一年間の活動・参加者数							274
成果	<p>回収実績</p> <p>6月～5月末 持込み者数 274人(延べ)</p> <p>回収量 218.5L</p> <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 回収量が、目標の半分以下。地域住民への認知不足・PR不足 2 広報活動の拡大、工夫 3 各種イベントへの参加、独自セミナーの開催 4 環境関連諸官庁及び諸団体の協力 							
課題	<p>《サポーター企業との活動》</p> <p>プロジェクトサポーターである直富商事株式会社様より、多大の協力・支援を頂いた</p>							
	長野市協力課等	取組内容						

令和5年度 ながの環境パートナーシップ会議 収支決算書

収入合計	1,881,642 円
支出合計	1,591,322 円
差引額	290,320 円

収入 単位:円

内 容	5年度予算額	流用額	予算現額	収入済額	収入済額-予算現額	主 な 内 訳
I 負担金・会費	1,125,000		1,125,000	1,130,000	5,000	
1 負担金・会費	1,125,000		1,125,000	1,130,000	5,000	長野市負担金1,000,000円、会費
II 事業収入等	50,000		50,000	53,809	3,809	
1 事業収入	0		0	0	0	
2 雑収入	50,000		50,000	53,809	3,809	寄付金、預金利息
3 助成金	0		0	0	0	
III 繰越金	697,833		697,833	697,833	0	
1 繰越金	697,833		697,833	697,833	0	
合 計	1,872,833	0	1,872,833	1,881,642	8,809	

支 出 単位:円

内 容	5年度予算額	流用額	予算現額	支出済額	予算現額-支出済額	主 な 内 訳
I 活動費	63,000	0	63,000	13,000	50,000	
1 自主事業活動費	60,000	0	60,000	10,000	50,000	
2 共催・参加事業活動費	3,000	0	3,000	3,000	0	長野エコ活動推進本部
II プロジェクト活動費	1,132,000	40,000	1,172,000	1,162,387	9,613	
1 生ごみ削減・再生利用	373,000	0	373,000	373,000	0	
2 市民の森づくり	250,000	0	250,000	249,986	14	
3 太陽エネルギー普及促進	0	0	0	0	0	
4 ながのカーボンオフセット	0	0	0	0	0	
5 松代オオムラサキの里	429,000	0	429,000	429,000	0	
6 生態系豊かな、水に親しめる川づくり (R6.2終了)	0	0	0	0	0	
7 ゴマシジミ保護・育成	10,000	0	10,000	9,900	100	
8 田中さくら公園作り&里山づくり	20,000	0	20,000	10,580	9,420	
9 新規プロジェクト (若槻廃食用油回収)	50,000	40,000	90,000	89,921	79	
III 保険料	49,000	0	49,000	33,600	15,400	
1 保険料	49,000	0	49,000	33,600	15,400	ボランティア活動保険料
IV 広報費	511,000	-57,560	453,440	306,795	146,645	
1 啓発・報告書等費	486,000	-57,560	428,440	297,495	130,945	HPリニューアル業務委託、新聞広告
2 ホームページ維持費	25,000	0	25,000	9,300	15,700	HPサーバー利用料
V 事務局費	85,000	17,560	102,560	75,540	27,020	
1 事務局運営費	85,000	17,560	102,560	75,540	27,020	郵送料、振込手数料等
VI 予備費	32,833	0	32,833	0	32,833	
1 予備費	32,833	0	32,833	0	32,833	
2 助成金	0	0	0	0	0	
合 計	1,872,833	0	1,872,833	1,591,322	281,511	

No.	起案日	番号	項目	内 容 等	収入金額	支出金額	差 引 額
1	R5.6.1	301	繰越金	令和4年度繰越金	697,833		697,833
2	R5.6.7	801	事務局運営費	総会送付用はがき代		7,875	689,958
3	R5.6.9	801	事務局運営費	総会通知等郵送代		10,500	679,458
4	R5.6.15	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		5,568	673,890
5	R5.6.15	101	負担金・会費	会費:佐藤敏夫、小山清子 R5年度分	1,000		674,890
6	R5.7.7	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 前期分		125,000	549,890
7	R5.7.10	801	事務局運営費	市民の森づくりプロジェクト活動費 前期分 振込手数料		880	549,010
8	R5.7.12	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 前期分		214,500	334,510
9	R5.7.14	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生利用プロジェクト活動費 前期分		186,500	148,010
10	R5.7.20	101	負担金・会費	長野市負担金	1,000,000		1,148,010
11	R5.7.26	601	保険料	令和5年度ボランティア活動保険料 途中加入者1名分		350	1,147,660
12	R5.7.26	801	事務局運営費	会費納入依頼郵送代		1,092	1,146,568
13	R5.8.4	101	負担金・会費	会費:高橋 正直 R5年度分	500		1,147,068
14	R5.8.9	101	負担金・会費	会費:普光寺 R5年度分	500		1,147,568
15	R5.8.9	101	負担金・会費	会費:長野商工会議所 R5年分	500		1,148,068
16	R5.8.10	101	負担金・会費	会費:パナソニック(株)EW社長長野電材営業所 R4,5年分	1,000		1,149,068
17	R5.8.14	101	負担金・会費	会費:吉田博、轟光昌 R5年度分	2,000		1,151,068
18	R5.8.16	402	共催・参加事業活動費	令和5年度長野エコ活動推進本部年会費		3,000	1,148,068
19	R5.8.16	801	事務局運営費	令和5年度長野エコ活動推進本部年会費 振込手数料		330	1,147,738
20	R5.8.16	101	負担金・会費	会費:宮澤木材産業株式会社 R5年度分	500		1,148,238
21	R5.8.18	101	負担金・会費	会費:生活協同組合コープながの R5年度分	500		1,148,738
22	R5.8.21	202	雑収入	預金利息	4		1,148,742
23	R5.8.21	101	負担金・会費	会費:長野卸売市場協同組合 R5年度分	500		1,149,242
24	R5.8.23	101	負担金・会費	会費:小林 清一 R5年度分	500		1,149,742
25	R5.8.25	101	負担金・会費	会費:小林 哲也 R5年度分	500		1,150,242
26	R5.8.25	101	負担金・会費	会費:井上 隆文 R5年度分	3,000		1,153,242
27	R5.8.25	101	負担金・会費	会費:天空の里いもい農場 R5年度分	1,000		1,154,242
28	R5.8.30	101	負担金・会費	会費:ゆうちょ振込分 計4名	4,000		1,158,242
29	R5.9.4	101	負担金・会費	会費:海沼 健一 R5年度分	1,000		1,159,242
30	R5.9.13	101	負担金・会費	会費:浅川地区住民自治協議会 R5年度分	500		1,159,742
31	R5.9.25	101	負担金・会費	会費:直富商事株式会社 R5年度分	500		1,160,242
32	R5.9.25	101	負担金・会費	会費:NPO法人フードバンク信州 R5年度分	1,000		1,161,242
33	R5.9.25	101	負担金・会費	会費:東村長俊、松橋清 R5年度分	1,000		1,162,242
34	R5.9.26	601	保険料	令和5年度ボランティア活動保険料 途中加入者2名分		700	1,161,542
35	R5.10.6	101	負担金・会費	会費:傳田 勝蔵 R5年度分	500		1,162,042
36	R5.10.12	101	負担金・会費	会費:西澤 和雄 R3~5年度分	1,500		1,163,542
37	R5.10.12	511	新規プロジェクト	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 前期分		45,000	1,118,542
38	R5.10.12	801	事務局運営費	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 前期分 振込手数料		550	1,117,992
39	R5.10.12	101	負担金・会費	会費:山口 泰弘 R5年度分	1,000		1,118,992
40	R5.10.13	101	負担金・会費	会費:西沢印刷株式会社 R4、5年度分	1,000		1,119,992
41	R5.10.19	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 後期分		125,000	994,992
42	R5.10.19	801	事務局運営費	市民の森づくりプロジェクト活動費 後期分 振込手数料		880	994,112
43	R5.11.2	101	負担金・会費	会費:長野都市ガス株式会社 R5年度分	500		994,612
44	R5.11.6	101	負担金・会費	会費:松代オオムラサキの里 計33名 R5年度分	16,500		1,011,112
45	R5.12.4	101	負担金・会費	会費:日本無線株式会社 R5年度分	50,000		1,061,112
46	R5.12.13	511	新規プロジェクト	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 後期分		45,000	1,016,112
47	R5.12.18	801	事務局運営費	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 後期分 振込手数料		550	1,015,562
48	R5.12.21	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生利用プロジェクト活動費 後期分		186,500	829,062
49	R5.12.22	101	負担金・会費	会費:澤田健、花崎秀紀、信州塚田土建(有) R5年度分	1,500		830,562
50	R5.12.22	601	保険料	令和5年度ボランティア活動保険料 途中加入者2名分		700	829,862
51	R5.12.22	101	負担金・会費	会費:市民の森づくりプロジェクト 計13名 R5年度分	6,500		836,362
52	R6.1.22	801	事務局運営費	環境活動発表会通知郵送代		4,872	831,490

差引簿 (R5)

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内 容 等	収入金額	支出金額	差 引 額
53	R6.1.25	101	負担金・会費	会費:田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト 計10名 R5年度分	5,000		836,490
54	R6.1.25	101	負担金・会費	会費:生ごみ削減・再生利用プロジェクト 計4名 R5年度分	2,000		838,490
55	R6.1.26	202	雑収入	長野卸売市場協同組合 寄附金	53,800		892,290
56	R6.1.25	801	事務局運営費	会費納入再依頼郵送代		756	891,534
57	R6.1.29	101	負担金・会費	会費:株式会社共同設備 R5年度分	1,000		892,534
58	R6.1.29	101	負担金・会費	会費:錦織広昌、榑和彦 R5年度分	1,500		894,034
59	R6.1.29	101	負担金・会費	会費:松澤 志幸 R5年度分	500		894,534
60	R6.1.30	101	負担金・会費	会費:松代金属株式会社 R5年度分	1,000		895,534
61	R6.1.31	101	負担金・会費	会費:(有)ケー・アンド・エフコンピュータサービス R5年度分	1,000		896,534
62	R6.1.30	101	負担金・会費	会費:寺沢さゆり、高木直樹 他2名	3,000		899,534
63	R6.2.3	101	負担金・会費	会費:小松裕 R5年度分	1,000		900,534
64	R6.2.14	101	負担金・会費	会費:渡辺ヒデ子、みどりの市民、榑榮光 R5年度分	2,000		902,534
65	R6.2.19	202	雑収入	預金利息	5		902,539
66	R6.2.20	101	負担金・会費	会費:宝資源開発株式会社 R5年度分	10,000		912,539
67	R6.2.21	401	自主事業活動費	環境活動発表会 発表学生へのお礼品(図書カード1,000円×10名)		10,000	902,539
68	R6.2.26	801	事務局運営費	環境活動発表会 発表学生へのお礼品 振込手数料		330	902,209
69	R6.2.28	101	負担金・会費	会費:小山勝宏 R5年度分	500		902,709
70	R6.2.28	101	負担金・会費	会費:東京海上日動火災保険株式会社 長野中央支社 R5年度分	500		903,209
71	R6.3.1	801	事務局運営費	R4成果報告書 郵送代		10,500	892,709
72	R6.3.14	509	ゴミシジミ保護・育成	ゴミシジミ保護・育成プロジェクト活動費 精算		9,900	882,809
73	R6.3.25	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 後期分		214,500	668,309
74	R6.3.25	801	事務局運営費	気候市民会議実績ワークショップ 旅費		16,500	651,809
75	R6.3.27	601	保険料	令和6年度ボランティア活動保険料		30,800	621,009
76	R6.4.16	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		3,732	617,277
77	R6.4.26	801	事務局運営費	令和6年度通常総会出欠確認ハガキ代(令和6年5月1日発送)		7,245	610,032
78	R6.4.30	801	事務局運営費	令和6年度通常総会・理事改選通知 郵送料		10,810	599,222
79	R6.5.14	101	負担金・会費	年会費(NPOホットライン信州、関口寿宏、善財啓太)	1,500		600,722
80	R6.5.15	101	負担金・会費	年会費(金井三平)	500		601,222
81	R6.5.15	511	新規プロジェクト	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 精算(返戻)		△ 79	601,301
82	R6.5.15	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 精算(返戻)		△ 14	601,315
83	R6.5.17	701	啓発・報告書等費	「赤ちゃん新聞」広告掲載料		19,800	581,515
84	R6.5.17	801	事務局運営費	「赤ちゃん新聞」広告掲載料 振込手数料		330	581,185
85	R6.5.17	510	田中さくら公園作り&里山づくり	田中さくら公園作り&里山づくり活動費 精算		10,580	570,605
86	R6.5.17	801	事務局運営費	田中さくら公園作り&里山づくり活動費 精算費 振込手数料		660	569,945
87	R6.5.22	601	保険料	令和6年度ボランティア活動保険料 途中加入者3名分		1,050	568,895
88	R6.5.27	701	啓発・報告書等費	Webサイト改修業務委託費用		277,695	291,200
89	R6.5.27	801	事務局運営費	Webサイト改修業務委託費用 振込手数料		880	290,320
90	R6.5.31	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 精算		0	290,320
91	R6.5.31	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 精算		0	290,320
92							
86							
合 計					1,881,642	1,591,322	290,320

項目別 差引簿 (R5)

負担金・会費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内 容 等	収入金額	支出金額
5	R5.6.15	101	負担金・会費	会費:佐藤敏夫、小山清子 R5年度分	1,000	
10	R5.7.20	101	負担金・会費	長野市負担金	1,000,000	
13	R5.8.4	101	負担金・会費	会費:高橋 正直 R5年度分	500	
14	R5.8.9	101	負担金・会費	会費:普光寺 R5年度分	500	
15	R5.8.9	101	負担金・会費	会費:長野商工会議所 R5年分	500	
16	R5.8.10	101	負担金・会費	会費:パナソニック(株)EW社長野電材営業所 R4,5年分	1,000	
17	R5.8.14	101	負担金・会費	会費:吉田博、轟光昌 R5年度分	2,000	
20	R5.8.16	101	負担金・会費	会費:宮澤木材産業株式会社 R5年度分	500	
21	R5.8.18	101	負担金・会費	会費:生活協同組合コープながの R5年度分	500	
23	R5.8.21	101	負担金・会費	会費:長野卸売市場協同組合 R5年度分	500	
24	R5.8.23	101	負担金・会費	会費:小林 清一 R5年度分	500	
25	R5.8.25	101	負担金・会費	会費:小林 哲也 R5年度分	500	
26	R5.8.25	101	負担金・会費	会費:井上 隆文 R5年度分	3,000	
27	R5.8.25	101	負担金・会費	会費:天空の里いもい農場 R5年度分	1,000	
28	R5.8.30	101	負担金・会費	会費:ゆうちょ振込分 計4名	4,000	
29	R5.9.4	101	負担金・会費	会費:海沼 健一 R5年度分	1,000	
30	R5.9.13	101	負担金・会費	会費:浅川地区住民自治協議会 R5年度分	500	
31	R5.9.25	101	負担金・会費	会費:直富商事株式会社 R5年度分	500	
32	R5.9.25	101	負担金・会費	会費:NPO法人フードバンク信州 R5年度分	1,000	
33	R5.9.25	101	負担金・会費	会費:東村長俊、松橋清 R5年度分	1,000	
35	R5.10.6	101	負担金・会費	会費:傳田 勝蔵 R5年度分	500	
36	R5.10.12	101	負担金・会費	会費:西澤 和雄 R3~5年度分	1,500	
39	R5.10.12	101	負担金・会費	会費:山口 泰弘 R5年度分	1,000	
40	R5.10.13	101	負担金・会費	会費:西沢印刷株式会社 R4、5年度分	1,000	
43	R5.11.2	101	負担金・会費	会費:長野都市ガス株式会社 R5年度分	500	
44	R5.11.6	101	負担金・会費	会費:松代オオムラサキの里 計33名 R5年度分	16,500	
45	R5.12.4	101	負担金・会費	会費:日本無線株式会社 R5年度分	50,000	
49	R5.12.22	101	負担金・会費	会費:澤田健、花崎秀紀、信州塚田土建(有) R5年度分	1,500	
51	R5.12.22	101	負担金・会費	会費:市民の森づくりプロジェクト 計13名 R5年度分	6,500	
53	R6.1.25	101	負担金・会費	会費:田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト 計10名 R5年度分	5,000	
54	R6.1.25	101	負担金・会費	会費:生ごみ削減・再生利用プロジェクト 計4名 R5年度分	2,000	
57	R6.1.29	101	負担金・会費	会費:株式会社共同設備 R5年度分	1,000	
58	R6.1.29	101	負担金・会費	会費:錦織広昌、榊和彦 R5年度分	1,500	
59	R6.1.29	101	負担金・会費	会費:松澤 忠幸 R5年度分	500	
60	R6.1.30	101	負担金・会費	会費:松代金属株式会社 R5年度分	1,000	
61	R6.1.31	101	負担金・会費	会費:(有)ケー・アンド・エフコンピュータサービス R5年度分	1,000	
62	R6.1.30	101	負担金・会費	会費:寺沢さゆり、高木直樹 他2名	3,000	
63	R6.2.3	101	負担金・会費	会費:小松裕 R5年度分	1,000	
64	R6.2.14	101	負担金・会費	会費:渡辺ヒデ子、みどりの市民、榊榮光 R5年度分	2,000	
66	R6.2.20	101	負担金・会費	会費:宝資源開発株式会社 R5年度分	10,000	
69	R6.2.28	101	負担金・会費	会費:小山勝宏 R5年度分	500	
70	R6.2.28	101	負担金・会費	会費:東京海上日動火災保険株式会社 長野中央支社 R5年度分	500	

項目別 差引簿 (R5)

79	R6.5.14	101	負担金・会費	年会費(NPOホットライン信州、関口寿宏、善財啓太)	1,500	
80	R6.5.15	101	負担金・会費	年会費(金井三平)	500	
小計					1,130,000	-

事業収入

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
小計					-	-

雑収入

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
22	R5.8.21	202	雑収入	預金利息	4	
55	R6.1.26	202	雑収入	長野卸売市場協同組合 寄附金	53,800	
65	R6.2.19	202	雑収入	預金利息	5	
小計					53,809	-

繰越金

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
1	R5.6.1	301	繰越金	令和4年度繰越金	697,833	
小計					697,833	-

自主事業活動費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
67	R6.2.21	401	自主事業活動費	環境活動発表会 発表学生へのお礼品(図書カード1,000円×10名)		10,000
小計					-	10,000

共催・参加事業活動費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
18	R5.8.16	402	共催・参加事業活動費	令和5年度長野エコ活動推進本部年会費		3,000
小計					-	3,000

生ごみ削減・再生利用

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
9	R5.7.14	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生利用プロジェクト活動費 前期分		186,500
48	R5.12.21	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生利用プロジェクト活動費 後期分		186,500
90	R6.5.31	501	生ごみ削減・再生利用	生ごみ削減・再生プロジェクト活動費 精算		0
小計					-	373,000

市民の森づくり

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
6	R5.7.7	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 前期分		125,000
41	R5.10.19	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 後期分		125,000
82	R6.5.15	502	市民の森づくり	市民の森づくりプロジェクト活動費 精算(返戻)		△ 14
小計					-	249,986

項目別 差引簿 (R5)

松代オオムラサキの里

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
8	R5.7.12	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 前期分		214,500
73	R6.3.25	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 後期分		214,500
91	R6.5.31	507	松代オオムラサキの里	松代オオムラサキの里活動費 精算		0
小計					-	429,000

ゴマシジミ保護・育成

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
72	R6.3.14	509	ゴマシジミ保護・育成	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト活動費 精算		9,900
小計					-	9,900

田中さくら公園作り&里山づくり

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
85	R6.5.17	510	田中さくら公園作り&里山づくり	田中さくら公園作り&里山づくり活動費 精算		10,580
小計					-	10,580

新規プロジェクト

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
37	R5.10.12	511	新規プロジェクト	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 前期分		45,000
46	R5.12.13	511	新規プロジェクト	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 後期分		45,000
81	R6.5.15	511	新規プロジェクト	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 精算(返戻)		△ 79
小計					-	89,921

保険料

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
11	R5.7.26	601	保険料	令和5年度ボランティア活動保険料 途中加入者1名分		350
34	R5.9.26	601	保険料	令和5年度ボランティア活動保険料 途中加入者2名分		700
50	R5.12.22	601	保険料	令和5年度ボランティア活動保険料 途中加入者2名分		700
75	R6.3.27	601	保険料	令和6年度ボランティア活動保険料		30,800
87	R6.5.22	601	保険料	令和6年度ボランティア活動保険料 途中加入者3名分		1,050
小計					-	33,600

啓発・報告書等費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
83	R6.5.17	701	啓発・報告書等費	「赤ちゃん新聞」広告掲載料		19,800
88	R6.5.27	701	啓発・報告書等費	Webサイト改修業務委託費用		277,695
小計					-	297,495

ホームページ維持費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内容等	収入金額	支出金額
4	R5.6.15	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		5,568
76	R6.4.16	702	ホームページ維持費	レンタルサーバーサービス利用料		3,732
小計					-	9,300

項目別 差引簿 (R5)

事務局運営費

単位:円

No.	起案日	番号	項目	内 容 等	収入金額	支出金額
2	R5.6.7	801	事務局運営費	総会送付用はがき代		7,875
3	R5.6.9	801	事務局運営費	総会通知等郵送代		10,500
7	R5.7.10	801	事務局運営費	市民の森づくりプロジェクト活動費 前期分 振込手数料		880
12	R5.7.26	801	事務局運営費	会費納入依頼郵送代		1,092
19	R5.8.16	801	事務局運営費	令和5年度長野エコ活動推進本部年会費 振込手数料		330
38	R5.10.12	801	事務局運営費	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 前期分 振込手数料		550
42	R5.10.19	801	事務局運営費	市民の森づくりプロジェクト活動費 後期分 振込手数料		880
47	R5.12.18	801	事務局運営費	若槻廃食用油回収プロジェクト活動費 後期分 振込手数料		550
52	R6.1.22	801	事務局運営費	環境活動発表会通知郵送代		4,872
56	R6.1.25	801	事務局運営費	会費納入再依頼郵送代		756
68	R6.2.26	801	事務局運営費	環境活動発表会 発表学生へのお礼品 振込手数料		330
71	R6.3.1	801	事務局運営費	R4成果報告書 郵送代		10,500
74	R6.3.25	801	事務局運営費	気候市民会議実績ワークショップ 旅費		16,500
77	R6.4.26	801	事務局運営費	令和6年度通常総会出欠確認ハガキ代(令和6年5月1日発送)		7,245
78	R6.4.30	801	事務局運営費	令和6年度通常総会・理事改選通知 郵送料		10,810
84	R6.5.17	801	事務局運営費	「赤ちゃん新聞」広告掲載料 振込手数料		330
86	R6.5.17	801	事務局運営費	田中さくら公園作り&里山づくり活動費 精算費 振込手数料		660
89	R6.5.27	801	事務局運営費	Webサイト改修業務委託費用 振込手数料		880
小計					-	75,540

監査報告書

令和6年5月31日

ながの環境パートナーシップ会議

代表理事 河西 弘明 様

ながの環境パートナーシップ会議

監事 小山 勝宏



監事 小林 清一



私たちは、令和5年6月1日から令和6年5月31日までの令和5年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて収支決算書及びその附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書及びその附属明細書は、令和5年度の収支状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 財産目録の内容は真実であると認める。
- (3) 事業報告書及びその附属明細書の内容は真実であると認める。
- (4) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは会則に違反する重大な事項はないと認める。

以上

令和 6 (2024) 年度運営方針 (案)

ながの環境パートナーシップ会議 代表理事 河西 弘明

ながの環境パートナーシップ会議 (以下「P 会議」という) は、「アジェンダ 21 ながの - 環境行動計画 - 2023」 (以下「アジェンダ 21 ながの」という) に掲げる長野市の環境ビジョン『山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの』の実現に向けて活動します。

P 会議は、平成 13 (2001) 年の設立以降、長野市域における環境を保全するネットワークを築くとともに、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐことを目的に環境活動を推進してきました。

令和 5 (2023) 年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更となり、様々な行動の制約が解除されたことから、P 会議の主催による交流イベントとして「環境活動発表会」を開催し、市内の中高校生と各プロジェクトチームが、それぞれの環境活動について発表しました。若い世代と P 会議会員が互いの環境活動について理解を深め、今後の活動に活かしていく良い機会となりました。

令和 6 (2024) 年度は、「持続可能な開発目標 (SDGs) ※」達成への貢献を意識しながら引き続き環境活動に取り組むとともに、人口減少・少子高齢化が進行する中でも各プロジェクトチームが新規会員やサポーターを確保できるようにするため、P 会議は環境活動のプラットフォームとしての組織づくりに一層取り組みます。

そのために、事業者との連携をさらに深めるとともに、若い世代への情報発信を強化することで、所属する組織や世代を超えて環境活動への理解を深め、P 会議の活性化に繋げていきます。

私達は、これまで以上に市民・事業者・行政との協働を拡大させ、地域の豊かな環境を持続させるため、「つなぐ・伝える・実践する」活動に取り組みます。

(1) P 会議とプロジェクトチームの環境活動の充実を図ります (実践する)

「アジェンダ 21 ながの」の趣旨に沿った活動に取り組む事業者や外部団体との共催や参加などを通じ、協働の拡大を図ります。

① プロジェクトチームの充実・拡大

既存のプロジェクトチームによる活動のより一層の充実を図るとともに、自由な発想で楽しみながら取り組める環境活動の提案を積極的に受け入れ、P 会議の新規プロジェクトとして立ち上げていくなど組織の拡充を図ります。

② やりがい・楽しさの向上

会員による環境活動の発表や情報発信をする機会を充実させ、第三者からの意見をフィードバックすることで、会員のモチベーション向上を図ります。

また、学生や地域住民などとの交流の場や楽しい・参加しやすいと感じられる取り組みなど、活動の拡充を図ります。

③ 企業による社会貢献（CSR）活動との連携強化

現代において、企業は利益の追求だけ行うのではなく、社会の一員として、環境への配慮、地域社会への貢献に取り組む必要があるという考え方が普及しています。このような企業とP会議及び各プロジェクトチームの連携を強化するとともに協働で環境活動を進めていくため、独自で取り組まれている企業とP会議の相互にメリットが生まれる環境を目指します。

④ 他団体との共催・参加・支援

各団体との共催や環境活動への参加及び支援を通じて、若い世代や市民・事業者などにP会議の活動を広く発信し、協働による活動の参加を呼び掛けます。

⑤ 主催事業の開催

昨年度開催した「環境活動発表会」のように、様々な環境活動を「つなぐ・伝える・実践する」機会をつくり、P会議会員と市民・事業者などが次世代に向けて環境活動に理解を深めるための事業を展開します。

（2）ながの環境パートナーシップ会議の活動を広く発信します（伝える）

これまで以上にインターネット等を活用し、「P会議の価値を向上させる」情報発信に取り組みます。

① P会議の活動の積極的発信

P会議及びプロジェクトチームの活動状況と成果を活動成果報告書「手をむすんで」にまとめ、P会議の活動をより積極的にアピールします。また、リニューアルしたホームページとSNSを連携させることで、市民だけではなく、市内外の事業者・団体などに広く情報発信を行い、環境意識の啓発に努めるとともに新規会員の入会につなげます。

② 環境活動に関する情報拠点化

長野市の環境活動のプラットフォームを目指し、P会議のホームページでプロジェクトチームの活動や企業が独自に取り組んでいる活動など環境活動に関する情報発信を行います。また、P会議が長野市全体の環境活動の情報拠点となり、様々なつながりが生まれ、より充実した活動が広がることを目指します。

(3) 次世代につながり成果の見える活動を行います(つなぐ)

目標である長野市の環境ビジョンの実現に向けた活動を強化するため、団体や事業者との協働の拡大を図るとともに、世代をつないだ活動基盤を構築するため、特に次世代の若者との協働による活動を進めます。

① 仲間づくりの推進と会員の増員に向けて

充実した環境活動を行っていくためには、市民・事業者・専門家・若者など、多様な知見・能力を有している方々の集積が必要です。会員・プロジェクトチーム・理事会が協力し、また、それぞれの立場で次世代の仲間づくりを進めるとともに、会員の増員を図ります。

② SNSなどを通じて賛同者を増やす

SNSなどで次世代に向けて、SDGs 達成への貢献を意識したP会議の活動について情報発信するとともに、活動への賛同者を増やすことを目指します。

※【参考】

SDGsとは・・・

2015年(平成27年)9月、国連において、新たなアジェンダとして「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。これは、人類の発展や地球の繁栄のため2030年までに達成すべき行動計画として、宣言と目標を掲げたものです。

この目標が「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals 略してSDGs(エスディージーズ))」であり、これまでのアジェンダ21やミレニアム開発目標(MDGs)などの理念と成果を土台に、豊かさを追求しながら地球を守ることを呼びかける17の目標と169の行動計画で構成され、「誰一人取り残さない」という理念のもと、環境問題と経済発展を両軸に、先進国、発展途上国を含めた全ての国々に持続可能な世界に向けての変革を求めています。



◎令和6年度活動目標・活動計画・予算書(案)

		ながの環境パートナーシップ会議(事務局)					
理想の街 (目指す姿)		山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの					
		目標・数値目標		行動計画			
R6	市民・事業者・行政のそれぞれが適正に役割を分担しつつ、対等の立場で協力して、環境保全活動に取り組めるようにし、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐこと	<ul style="list-style-type: none"> ・アジェンダの推進、進捗管理 ・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「実践する」活動を充実させる。 ・市民、事業者、行政の役割分担による協働事業の推進 ・新規会員の入会促進 					
		目標・数値目標		行動計画			
R7	市民・事業者・行政のそれぞれが適正に役割を分担しつつ、対等の立場で協力して、環境保全活動に取り組めるようにし、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐこと	<ul style="list-style-type: none"> ・アジェンダの推進、進捗管理 ・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「実践する」活動を充実させる。 ・市民、事業者、行政の役割分担による協働事業の推進 ・新規会員の入会促進 					
		目標・数値目標		行動計画			
R8	市民・事業者・行政のそれぞれが適正に役割を分担しつつ、対等の立場で協力して、環境保全活動に取り組めるようにし、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐこと	<ul style="list-style-type: none"> ・アジェンダの推進、進捗管理 ・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「実践する」活動を充実させる。 ・市民、事業者、行政の役割分担による協働事業の推進 ・新規会員の入会促進 					
数値目標 (長期)		環境保全活動参加者数:4,000人(第3次長野市環境基本計画 R8目標値)		令和6年度目標活動参加人数			
				4,000人			
(支出の部)							
		区 分	実施予定	予算額	内 訳	金額:円	
本年度活動計画	A	活動費	未定	23,000	1. 自主事業活動費	20,000	
					主催イベント		20,000
	B	保険料	通年	41,000	1. ボランティア保険(年@350×115人)	41,000	41,000
					2. 共催・参加事業活動費	3,000	3,000
	C	広報費	通年	281,000	1. 啓発・報告書等費	271,000	271,000
					活動成果報告書印刷費(300部)		
	D	事務局費	通年	68,000	1. 事務局運営費	68,000	68,000
事務消耗品費・振込手数料					32,000		
E	予備費		320	1. 予備費	320	320	
						0	
支出予算額合計				413,320	支出積算額合計	413,320	
(収入の部)							
		区 分	実施予定	予算額	内 訳	金額:円	
本年度活動計画	A	負担金・会費	通年	1,025,000	会費	125,000	
					市負担金 900,000円	900,000	
	B	事業収入等	通年	50,000	1. 事業収入	0	
					2. 雑収入	50,000	
3. 助成金					0		
C	繰越金(仮)		290,320	1. 前年度繰越金	290,320	290,320	
収入予算額合計						1,365,320	

◎令和6年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	生ごみ削減・再生利用チーム				
理想の街 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが2050ゼロカーボンを目指し、生ごみの削減・再生利用につとめ、排出量は以前と比べ大幅に減っているまち ・生ごみの大半がリサイクルされ可燃ごみが大幅に減少し、食と農の有機循環システムが整っているまち ・地域ごとに多くの市民が生ごみの減量化・再資源化に取り組む地域循環型のまち 				
R6	目標・数値目標	行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの堆肥化と再生利用を地域住民と若年世代が一体になって取り組む地域循環モデルを模索し実践する。 ・キッズ生ごみ農園クラブの会員増(目標値40名)を目指し、生ごみと野菜の交換を充実させる。余った野菜は、子ども食堂や困窮学生等へ無償にて提供する。堆肥製造量の目標値は1200kgを目指す。 ・長野市の生ごみ減量の数値目標として、可燃ごみ総量に対する生ごみの割合を35.0%(含む食品ロス)にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ減量活動の周知と市民への啓発に段ボール堆肥化に加え、ミズコンポスト「金子みみずちゃんの家」を活用し出前講座などを行う。 ・キッズ生ごみ農園では、会員の生ごみの持参で堆肥を製造し、農作物栽培に活かす。収穫祭では、食と農の循環を実感してもらえるよう工夫する。 ・収穫野菜を地域のイベントにて展示販売することで食と農の利活用をアピールする。 			
R7	目標・数値目標	行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの堆肥化による減量と堆肥の利活用を地域住民と一体になって取り組む方法を模索し実践する。 ・キッズ生ごみ農園クラブの会員増(目標値50)を目指し、生ごみ堆肥の製造(目標値1400kg)と野菜等の栽培を定着させ、野菜と生ごみの交換を充実させる。 ・市の可燃ごみ総量に対する生ごみの割合34.8%を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・「キッズ生ごみ農園クラブ」の会員募集、生ごみと出来た野菜や生ごみ堆肥との交換を周知発展させる活動。 ・子供のための一坪農園とミズコンポストを食農教育として取り組めるようにする。また、ミズコンポスト「金子みみずちゃんの家」を活用して、幼児期からの環境教育にも取り組む。 			
R8	目標・数値目標	行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの堆肥化による減量と堆肥の利活用を地域住民と一体になって取り組む方法を模索し実践する。 ・キッズ生ごみ農園クラブの会員増(目標値60)を目指し、生ごみ堆肥の製造(目標値1600kg)と野菜等の栽培を定着させ、野菜と生ごみの交換を充実させる。 ・市の可燃ごみ総量に対する生ごみの割合34.5%を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・「キッズ生ごみ農園クラブ」の会員募集、生ごみと出来た野菜や生ごみ堆肥の交換を周知発展させる活動 ・生ごみの減量、食品ロスの抑制、生ごみ堆肥化による生ごみ減量の啓もう活動の情報発信及びミズコンポスト「金子みみずちゃんの家」を活用して、幼児期からの環境教育にも取り組む。 			
数値目標 (長期)	①市の可燃ごみ総量に占める生ごみの割合を20%にする。		令和6年度目標活動参加人数		
	②キッズ生ごみ農園クラブの家族会員数を45家族にする。		600	人以上	
	③生ごみ堆肥化による食と農の地域循環モデルを2地域以上に増やす。				
本年度活動計画	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
	A	他団体等への働きかけ ・各地区自治協等の地縁団体を通じて地域住民への啓蒙活動と若年家族の参加呼びかけ ・生ごみ堆肥化講座と生ごみ堆肥で育てた花や野菜の展示と提供、及びプレゼンの実施	6月～9月	チラシ2000部、資料作成等	21,000
				講座用テキスト作成・配布 生ごみ堆肥の花と野菜の栽培コンテナ	7,000 5,000
	B	市民への啓発 ・展示、講習会(〇〇環境フェア・アモーレフェスタなど)で使用 ・他地域の地縁団体等への働きかけ	7月～9月	展示資料作成	3,000
				花や野菜のコンテナ栽培品	4,000
				チラシ・印刷物	3,000
				交通費・会議費	3,000
	C	キッズ生ごみ農園クラブ ・家族会員(20家族目標)等を募集し一次生成物及び生ごみの受け入れ ・生ごみ堆肥の製造(堆肥場の整備とミズコンポストの維持管理)と農作物を作るための機材等 ・農場の維持整備(トラクター・耕運機・仮払機等) ・野菜等の栽培 ・春・夏・秋に収穫祭の実施 ・麦ストロー作製のための資材 ・精麦・製粉 ・燃料代 ・農機具に掛ける保険 ・地代 ・イベント使用のマイクセット	通年	チラシ資料作成等	3,000
				堆肥化基材(30袋)・肥料	14,000
				資材(支柱・木材・寒冷紗等)	35,000
				農機具・仮払機刃・燃料・修繕	84,000
				種苗代	31,000
				保険代 I (@350×50人)	12,000
				会場整備品(案内板・ベンチ等)	10,000
					0
				ライ麦粉・もち麦の加工	4,000
				ガソリン代・軽油代・混合油	31,000
	保険代 II (農機具別)	6,000			
	轟さん	7,000			
	スピーカー・Wi-Fiマイク	10,000			
D	月例ミーティングと農作業打合せ ・生ごみ削減・再生利用の市民への啓もう ・地縁団体への生ごみ堆肥利用の推進 ・生ごみ堆肥作製の講習会の企画・運営 ・地域環境演習学生が生ごみ堆肥化とその利用実践	通年	資料代・印刷費	7,000	
			学生への資料・基材等	7,000	
支出合計					307,000
区分	(収入の部)				
A	イベントの参加費(@500×20)			豆腐作り(材料費・保険代)	10,000
B	野菜の販売			直売	7,000
収入合計					17,000

◎令和6年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	市民の森づくりプロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	四方を山に囲まれた長野市には手入れされた里山があり、そこには多様な動植物が暮らす豊かな森がある。人々はこの里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるまち				
R6	目標・数値目標	行動計画			
	市民の森づくりに200人以上の参加者を得る安全作業に徹底し、“ゼロ災”とする 市民、他団体との連携を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、参加してもらい、森林整備、自然観察、山遊び、学習、など多様性に富んだ活動を実施し、また活動の広がりも検討する。 ・地域住民との交流や他団体、個人、事業者との連携を検討する。 ・参加人数の増加も大切な事ではあるが、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。 			
R7	目標・数値目標	行動計画			
	市民の森づくりに250人以上の参加者を得る安全作業に徹底し、“ゼロ災”とする 市民、他団体との連携を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、参加してもらい、森林整備、自然観察、山遊び、学習、など多様性に富んだ活動を実施し、また活動の広がりも検討する。 ・地域住民との交流や他団体、個人、事業者との連携を検討する。 ・参加人数の増加も大切な事ではあるが、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。 			
R8	目標・数値目標	行動計画			
	市民の森づくりに300人以上の参加者を得る安全作業に徹底し、“ゼロ災”とする 市民、他団体との連携を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを理解・実感し、参加してもらい、森林整備、自然観察、山遊び、学習、など多様性に富んだ活動を実施し、また活動の広がりも検討する。 ・地域住民との交流や他団体、個人、事業者との連携を検討する。 ・参加人数の増加も大切な事ではあるが、本会としては、安全作業に徹して、無事故・無災害を旨として作業にあたる。 			
数値目標 (長期)				令和6年度目標活動参加人数	
				200人以上	
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
本年度活動計画	A	作業道、遊歩道、森林整備	4月～12月	消耗品費(チェーンソー替刃、刈払機の替刃等)	14,000
				燃料費(チェーンソーのガソリン、オイル等)	14,000
				ユニック車他レンタル料金	7,000
				整備機材(チェーンソー、刈払機等)	56,000
				材料費(ロープ、杭等)	21,000
	B	きのこの駒打ち	4月	きのこ駒等	14,000
	C	かんじき体験会	2月	ロープ、針金、多目的スペース使用料等	14,000
	D	工作・自然観察	7月～10月	工作用材料(鋸、ボンド、マジック、金具等)	28,000
	E	傷害・賠償保険料(会員)	年間	保険料	28,000
	F	会議用資料代	年間	インク、コピー、印刷費等	14,000
					0
					0
					0
	支出合計				
	区分	(収入の部)			
	A				
	B				
収入合計					0

◎令和6年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	雑がみアート					
理想の街 (目指す姿)	リサイクル対象製品の理解が深まり、リサイクル率が向上する アート作品制作を通じた、地域のコミュニケーションが深まる					
R6	目標・数値目標		行動計画			
	参加者20名		小規模での実証実験を行う			
R7	目標・数値目標		行動計画			
	参加者50名		雑がみアートの拠点を築く 市内の複数個所で活動を行う			
R8	目標・数値目標		行動計画			
	参加者100名		市内の複数個所で活動を行う			
数値目標 (長期)	参加者100名/年		令和6年度目標活動参加人数			
			20人以上			
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額	
本年度活動計画	A	講師を呼んで、雑がみアートを体験する	1月	講師旅費	43,000	
	B					
	C					
	D					
	支出合計				43,000	
	区分	(収入の部)				
	A					
	B					
	収入合計				0	

◎令和6年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名 松代オオムラサキの里					
理想の街 (目指す姿)	身近な自然環境を守り後世に残すため、里山の小生物(オオムラサキ・カブトムシ・クワガタ)などの生育環境を再生し松代に自生するエドヒガン・野生モモが咲く豊かな自然環境の保全を目指す。オオムラサキ含めジャコウアゲハ・アゲハチョウ・キアゲハ・アサギマダラなどが自然に舞う環境の構築に努め啓発活動を進める。				
R6	目標・数値目標		行動計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生・中学生の総合学習の時間を使い自然観察会を年数回実施する。 市民に理解を計るため自然観察会を実施し啓発活動をする。 小中学校及び一般市民対象のオオムラサキ観察会や自然観察会を恒常的に開催する。 		<ul style="list-style-type: none"> 小中学校自然観察会を恒常的に行える環境整備およびシステムの構築。 		
R7	目標・数値目標		行動計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生・中学生の総合学習の時間を使い自然観察会を年数回実施する。 市民に理解を計るため自然観察会を実施し啓発活動をする。 小中学校及び一般市民対象のオオムラサキ観察会や自然観察会を恒常的に開催する。 		<ul style="list-style-type: none"> 小中学校自然観察会を恒常的に行える環境整備およびシステムの構築。 		
R8	目標・数値目標		行動計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生・中学生の総合学習の時間を使い自然観察会を年数回実施する。 市民に理解を計るため自然観察会を実施し啓発活動をする。 小中学校及び一般市民対象のオオムラサキ観察会や自然観察会を恒常的に開催する。 		<ul style="list-style-type: none"> 小中学校自然観察会を恒常的に行える環境整備およびシステムの構築。 		
数値目標 (長期)	竹ノ入を中心とした学習林を軸に長野市の豊かな自然環境の保全を市民が共有できる環境思想の向上を図る。 オオムラサキの保全を通して、多くの人が環境問題に関心を持つよう活動を推進する。			令和6年度目標活動参加人数	
				700	人以上
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
本年度活動計画	A	チェーンソーに使用	5月～翌年6月	チェーンソーの刃 2枚	7,000
		チェーンソー及び刈払機に使用		チェーンソー, 刈払機 オイル	14,000
		チェーンソー及び刈払機に使用		燃料(ガソリン・混合油)	28,000
		竹ノ入整備作業に使用		刈払機の刃 10枚	24,500
	B	樹木・植物の銘板作製		銘板材料費	21,000
		小生物保護活動に使用		オオムラサキ・小生物飼料	3,500
		フジバカマ・ウマノスズクサ育苗		肥料(化成肥料) 5袋	3,500
		カブトムシ・クワガタ飼育に使用		飼育道具, 飼料	7,000
		オオムラサキ飼育舎に使用		防虫ネット	21,000
		ピオトープ用池の製作に使用		防水シート	63,000
		センサーカメラのデータ保存に使用		SDカード	3,500
		センサーカメラに使用		乾電池	2,800
	C	竹ノ入整備作業に使用	5月～翌年6月	重機レンタル代	42,000
		「フジバカマ」育苗・植樹に使用		培養土40ℓ入30袋	10,500
		フジバカマ・ウイキョウ植栽地借地料		借地料(西澤宅)	7,000
		共通事項(事務費等)		業書代	14,000
	D	総会資料印刷代 他	5月～翌年6月	インク・コピー用紙等	25,000
		作業時飲料水、給代		作業時飲料水、給代	7,000
		総会・役員会の会場費		会場費	7,000
		観察会に使用するマイクセット		マイクセット	10,700
		理事会・その他イベント参加の交通費	交通費	7,000	
支出合計					329,000
	区分 (収入の部)				
	A				
	B				
収入合計					0

◎令和6年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト					
理想の街 (目指す姿)	「元気なふるさと浅川を創生する」を目標に、浅川地区での地域資源の見直しと地域住民の意識の高揚を図り、地域活動への参画意欲を高めるため、浅川地区まちづくり計画を策定し、現在、各種事業を展開している。その事業の一環として地区内に生息が確認されている県指定希少種の蝶「ゴマシジミ」の保護・育成活動を地域住民と協働で実施し、「ふるさとの魅力を自然の豊かさで体験できる環境整備」の推進を図っていく。また、ゴマシジミ情報をより広く発信していきたい。					
R6	目標・数値目標		行動計画			
	行事 4件 ・ 参加人数 70人		1. 密猟者対策として保護地区のパトロール実施 2. 浅川小学校への保護・育成啓発活動 3. 地区住民へのゴマシジミ生息のアナウンス			
R7	目標・数値目標		行動計画			
	行事 4件 ・ 参加人数 70人		1. 密猟者対策として保護地区のパトロール実施 2. 浅川小学校への保護・育成啓発活動 3. 地区住民へのゴマシジミ生息のアナウンス			
R8	目標・数値目標		行動計画			
	行事 4件 ・ 参加人数 70人		1. 密猟者対策として保護地区のパトロール実施 2. 浅川小学校への保護・育成啓発活動 3. 地区住民へのゴマシジミ生息のアナウンス			
数値目標 (長期)	ゴマシジミ保護活動組織の再確認をする。		令和6年度目標活動参加人数			
	生息現地の環境整備を再確認する。 現地訪問者の見学会を考える。		70人以上			
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額	
本年度活動計画	A	ワレモコウ育成		環境整備自品、道具、肥料等	7,000	
	B					
	C					
	D					
	支出合計				7,000	
	区分	(収入の部)				
	A					
	B					
	収入合計				0	

◎令和6年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	若槻地区田中の桜公園作りを推進力に里山を里山らしく利用、保全を行う活動を展開することで、自然災害に強く、後継者も育ち定着する持続可能な地域作り・協し支えあう地域・まち				
R6	目標・数値目標		行動計画		
	参加目標150名①草刈り②東屋づくりの推進計画立案検討③秋の公園祭りの計画④竹林の伐採推進⑤桜公園も含めての里山らしい里山づくり構想協議会開催		①月1度を最低に草刈り活動②東家づくり検討会の実現③秋の公園祭り[作業含む]の推進実現④竹林の伐採推進⑤里山らしい里山づくり構想協議会の実施から構想を練り上げる。その為にも、県の林務部に出前講座をお願いして学習も深める。		
R7	目標・数値目標		行動計画		
	参加目標200名(前期)①散策路整備橋=造り4年計画 ②竹林の伐採③花壇の充実④R5年度東屋建設計画推進・資金申請(後期)⑤桜公園拡大計画検討⑥桜公園祭りの実施⑦水道道沿いの里山利用調査検討⑧草刈り		①散策路整備 沢を渡るちょっとした橋造りなど②竹林の伐採を進める③四季折々に楽しめる花壇・花木の計画作成と苗の購入④東屋づくりの計画=設計図を作り、材料および資金の計画を立て、資金計画を立てるなど、着工準備活動をすすめる。⑤桜公園拡大4年計画の1年目標植樹計画作成⑥桜公園祭りの実施。⑦水道道沿い里山のあり方検討⑧草刈り		
R8	目標・数値目標		行動計画		
	参加目標250名(前期)東屋の棟上げ・花壇の充実と案内板設置計画、竹林の伐採推進、草刈り (後期)桜祭りの準備と実施		5月から8月 “東屋づくりに取りかかる” 一部の大人だけの作業となる。安全に配慮しながら子供たちのできる活動を考え出し、みんなが参加し作った充実感を生み出す。また、竹の伐採・以前伐採終了場所では抜根作業継続。10月から4月 散策路の拡充・花壇の拡充に取り組む。桜祭りで東屋披露式 ベンチ設置、用水路改修。広場の岩垂草の手入れ、草刈り、桜公園祭りの準備と実行		
数値目標 (長期)	延べ参加者累計600人		令和6年度目標活動参加人数		
			150人以上		
本年度活動計画	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
	A	桜公園春・秋祭り関係費(清涼飲料水、紙コップ等、カセットコンロ用ボンベ)	10月4月	関係必要資材購入	7,000
	B	竹林の伐採費、草刈り費用(燃料費、替え刃)		ピーパー替え刃、ピーパー用燃料費用、	3,500
	C	事務通信費(コピー費印刷費切手代印紙)		コピー紙、インク代、切手代等	3,500
	D				
	支出合計				14,000
	区分	(収入の部)			
	A				
	B				
	収入合計				0

◎令和6年度活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	若槻廃食用油回収プロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	家庭で使用済となった天ぷら油を回収し、資源として再利用する活動を通じ、地区の環境を保全すると共に、脱炭素、地球温暖化に貢献する。 我々の活動が、長野市の他地区で認知され、同じようなプロジェクトが広がっていくことを念願し、啓蒙活動を通じ、そのための協力・支援をする。				
R6	目標・数値目標		行動計画		
	当地区の油回収量及び持込者を、前年度の3割アップとする。 ・持込者数 350人/年 ・回収量 300L/年		毎週土曜日の定例回収作業を継続 長野県主催の「信州環境フェア」に参加 若槻団地自治会主催の「リサイクル祭り」に参加 若槻住民自治協議会主催の「コミわかフェスティバル」に参加 長野市主催の「ながの環境フェア」に参加 独自セミナーを開催		
R7	目標・数値目標		行動計画		
	他地区に1拠点を支援する。				
R8	目標・数値目標		行動計画		
	他地区に5拠点を支援する。				
数値目標 (長期)	長野市内の半分の地区は、立ち上がる		令和6年度目標活動参加人数		
			300人以上		
	区分	予算(支出の部)	予定月	説明	金額
本年度活動計画	A	パネル用ポスターの印刷費	6月	イベント参加用のパネルポスター	3,500
					0
					0
					0
	B	会議室会場費 コピー/印刷費 自治会だより広告費	通年	定例月次打合せ会	3,500
				会議資料及びチラシ印刷	7,000
				年5回	3,500
					0
	C	コピーカラー用紙代 各種用具・文具代 スタッフ用帽子代	通年	配布チラシ用	3,500
					7,000
				10ヶ	7,000
					0
	D	各種イベント参加費 セミナー開催関連費用	通年	会場費・負担金	7,000
				講師御礼含む	7,000
				0	
支出合計					49,000
	区分	(収入の部)			
	A				
	B				
収入合計					0

令和6年度 ながの環境パートナーシップ会議 予算書(案)

収入

単位:円

項 目	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6予算額－ R5予算額	説 明
I 負担金・会費	1,125,000	1,130,000	1,025,000	△ 100,000	
1 負担金・会費	1,125,000	1,130,000	1,025,000	△ 100,000	市負担金(900千円)、会費
II 事業収入等	50,000	53,809	50,000	0	
1 事業収入	0	0	0	0	会員制度変更によるバナー広告制度の廃止
2 雑収入	50,000	53,809	50,000	0	
3 助成金	0	0	0	0	活動報告書印刷費に充当
III 繰越金	697,833	697,833	290,320	△ 407,513	
1 繰越金	697,833	697,833	290,320	△ 407,513	前年度繰越金(仮)
合 計	1,872,833	1,881,642	1,365,320	△ 507,513	

支出

単位:円

項 目	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6予算額－ R5予算額	増 減 理 由
I 活動費	63,000	13,000	23,000	△ 40,000	
1 自主事業活動費	60,000	10,000	20,000	△ 40,000	主催イベント
2 共催・参加事業活動費	3,000	3,000	3,000	0	長野エコ活動推進本部
II プロジェクト活動費	1,132,000	1,162,387	952,000	△ 229,000	
1 生ごみ削減・再生利用	373,000	373,000	290,000	△ 83,000	
2 市民の森づくり	250,000	249,986	210,000	△ 40,000	
3 太陽エネルギー普及促進	0	0	0	0	
4 ながのカーボンオフセット(R6.5終了) 一雫がみアート(R6.6～)	0	0	43,000	43,000	
5 松代オオムラサキの里	429,000	429,000	329,000	△ 100,000	
6 ゴマシジミ保護・育成	10,000	9,900	7,000	△ 3,000	
7 田中さくら公園作り&里山づくり	20,000	10,580	14,000	△ 6,000	
8 若槻廃食用油回収			49,000		R5新規プロジェクト
9 新規プロジェクト	50,000	89,921	10,000	△ 40,000	
III 保険料	49,000	33,600	41,000	△ 8,000	
1 保険料	49,000	33,600	41,000	△ 8,000	ボランティア保険(年@350×115人)
IV 広報費	511,000	306,795	281,000	△ 230,000	
1 啓発・報告書等費	486,000	297,495	271,000	△ 215,000	活動成果報告書印刷費(231,000円)、新聞広告料(40,000円)
2 ホームページ維持費	25,000	9,300	10,000	△ 15,000	レンタルサーバ、ドメイン使用料、HP維持費
V 事務局費	85,000	75,540	68,000	△ 17,000	
1 事務局運営費	85,000	75,540	68,000	△ 17,000	事務消耗品、振込手数料、郵送料
VI 予備費	32,833	0	320	△ 32,513	
1 予備費	32,833	0	320	△ 32,513	
2 助成金	0	0	0	0	
合 計	1,872,833	1,591,322	1,365,320	△ 556,513	

理事 候補者名簿

(立候補届け順)

6	5	4	3	2	1
		上 條 補 喜	赤 羽 和 春	小 笠 原 幹 夫	河 西 弘 明

[任期] 令和6年6月28日～令和8年度の通常総会時まで

ながの環境パートナーシップ会議会則

平成21年6月25日

改正 平成21年10月17日

一部改正 平成22年6月5日

一部改正 平成23年6月4日

一部改正 平成24年6月10日

一部改正 平成30年6月17日

一部改正 令和2年8月6日

一部改正 令和5年6月29日

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、ながの環境パートナーシップ会議と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、長野市環境部環境保全温暖化対策課内に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会は、長野市域における環境を保全するためのネットワークを築くとともに、地球規模の環境問題へ視野を広げ、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐことを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「アジェンダ21ながの一環境行動計画」の推進
- (2) 環境保全に関する普及啓発
- (3) 環境保全活動を行う団体等の支援
- (4) 環境の保全と創造に関する提言
- (5) 会員が行う活動の紹介
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

2 法人会員にあっては、当該法人の社会的責任（CSR）に基づき行われる環境保全に関する活動を本事業とみなすことができる。行政機関にあっては、当該機関の環境保全に資する事業を本事業とみなすことができる。

第3章 会員

(会員)

第5条 本会は、目的に賛同する市民、法人、団体並びに行政機関をもって構成する。

2 会員は、正会員及び本会の活動を支援する賛助会員とする。

(入会)

第6条 本会の会員になろうとするものは、別に定める入会申込書を代表理事に提出し、理事会の承認を得なければならない。

2 理事会は、本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為のおそれがある場合には、入会を拒むことができる。

(会費)

第7条 会員は、会費を納入しなければならない。

- 2 会費は年会費とし、その金額は理事会でこれを定める。
- 3 次の者は、会費の納入を免除する。
 - (1) 15歳以下の者
 - (2) 学生（学校教育法第1条に基づく学校に通学している者）
- 4 既納の会費は、返還しない。

(退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この会則その他この会則に基づく規程に違反したとき。
- (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を別途定める納入時期に履行しなかったとき。
- (2) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。

第4章 役員

(役員を設置)

第11条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上10人以内
 - (2) 監事 2人以内
- 2 理事のうち1人を代表理事とする。
 - 3 代表理事以外の理事のうち2人を副代表理事とする。

(役員を選任)

第12条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。ただし、理事のうちの1人は、長野市環境部長の職にある者をもってあてる。

- 2 代表理事及び副代表理事は、理事の互選とする。

(理事の職務及び権限)

第13条 理事は、理事会を構成し、この会則の定めるところにより、職務を執行する。

- 2 代表理事は、この会則の定めるところにより、本会を代表し、その業務を執行する。
- 3 副代表理事は、代表理事を補佐し、代表理事に事故あるときは、その職務を代行する。

(監事の職務及び権限)

第14条 監事は、理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、幹事に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第15条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第11条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第16条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(顧問)

第17条 本会に、任意の機関として、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

(1) 代表理事の相談に応じること。

(2) 理事会から諮問された事項について意見を述べること。

3 顧問の選任は、理事会において決議する。

4 顧問の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない

第5章 総会

(種別)

第18条 本会の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第19条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

(権限)

第20条 総会は、次の事項について決議する。

(1) 会則の変更

(2) 理事及び監事の選任又は解任

(3) 会員の除名

(4) 事業計画及び収支予算

(5) 事業報告及び収支決算

(6) 解散及び残余財産の処分

(7) その他本会に関する重要な事項

(開催)

第21条 通常総会は、毎年度1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

(1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。

(2) 総会員の10分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(3) 監事から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(招集)

第22条 総会は、理事会の決議に基づき代表理事が招集する。

2 代表理事は、前条第2項各号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁記録をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第23条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する。

(議決権)

第24条 総会における議決権は、正会員1人につき1個とする。

(定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(決議)

第26条 総会の議事は、この会則に別に規定するもののほか、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。この場合において、議長は、正会員として議決に加わる権利を有しない。

(書面主義)

第27条 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、出席したものとみなす。

2 災害等の緊急事態において、代表理事が必要と認め理事会が承認したときには、あらかじめ通知された事項について、正会員の過半数が書面をもって表決することで、総会が開催されたこととみなすことができる。

(議事録)

第28条 総会の議事については、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事のうち1人以上は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 理事会

(構成)

第29条 本会に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 代表理事及び副代表理事の選定及び解職
- (3) その他本会の運営に関し必要な事項

(招集)

第31条 理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 代表理事が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の2分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

- (3) 監事から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議をのべたときは、その限りでない。

(会議記録)

第33条 理事会の議事については、確認事項等を記載した会議記録を作成する。

第7章 プロジェクトチーム等

(プロジェクトチーム)

第34条 第4条に規定する事業を推進するため、プロジェクトチームを置くことができる。

- 2 プロジェクトチームは、希望する正会員をもって構成する。
3 プロジェクトチームは、総会で承認された当該プロジェクト推進のための予算、その他をもって、会議、ワークショップ、講演会、研修会の開催、事業化に向けた調査研究等の具体的な活動を実施する。

(プロジェクト実施会議)

第35条 第4条に定める事業を推進するため必要と認められる場合、プロジェクト実施会議を開催することができる。

- 2 プロジェクト実施会議は、プロジェクトチーム、長野市関係課、顧問等事業の推進に必要な者及び事務局又は理事をもって構成する。

第8章 事務局

(設置等)

第36条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に、事務局長及び所要の職員を置く。
3 事務局長及び職員は、代表理事が任命する。
4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の承認を経て、代表理事が別に定める。

第9章 資産及び会計

(資産の構成)

第37条 本会の資産は、次に掲げる事項をもって構成する。

- (1) 会費
- (2) 寄付金品
- (3) 事業に伴う収入
- (4) 資産から生ずる収入
- (5) その他の収入

(資産の管理)

第38条 資産は、代表理事が管理し、その方法は、理事会の決議を経て代表理事が別に定める。

(経費の支弁)

第39条 本会の経費は、資産をもって支弁する。

(事業年度)

第40条 本会の事業年度は、毎年6月1日に始まり翌年の5月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第41条 本会の事業計画及び収支予算は、毎事業年度の開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の決議を経て、総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、当該事業年度が終了するまでの間、事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(暫定予算)

第42条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、代表理事は、理事会の決議を経て、予算の成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第43条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、監事の監査を経て、通常総会に報告しなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 収支決算書
- (4) 収支決算書の附属明細書
- (5) 財産目録

第10章 会則の変更及び解散

(会則の変更)

第44条 この会則は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第45条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(財産の贈与)

第46条 本会が解散する場合には、総会の決議を経て、財産残額に相当する額の財産を、地方公共団体に贈与するものとする。

第11章 公告の方法

(公告の方法)

第47条 本会の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法による。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成21年10月17日から施行する。

(経過措置)

- 2 最初の総会は、ながの環境パートナーシップ会議会則（平成13年5月8日制定。以下「旧会則」という。）第4条第1項各号に規定する者が招集することができる。
- 3 この会則の施行の日前に旧会則の規定に基づく会員であったものは、第6条の規定に関わらず、本会の会員とする。
- 4 本会の会費は、平成22年5月31日までの間は、第7条第1項の規定にかかわらず、納入を要しない。

(役員の特例)

- 5 最初の総会で選任される幹事及び監事の任期は、第15条第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成22年に開催される通常総会の終結の時までとする。

附 則

この会則は、平成21年10月17日から施行する。

附 則

この会則は、平成22年6月5日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年6月4日から施行する。

附 則

この会則は、平成24年6月10日から施行する。

附 則

この会則は、平成30年6月17日から施行する。

附 則

この会則は、令和2年8月6日から施行する。

附 則

この会則は、令和5年6月29日から施行する。

ながの環境パートナーシップ会議役員選任規程

(趣旨)

第1条 この規程は、ながの環境パートナーシップ会議（以下「本会」という。）会則第12条第1項の規定による理事及び監事（以下「役員」という。）の選任に関し、必要な事項を定めるものとする。

(候補者)

第2条 会員は、3人以上の会員の推薦をもって、役員候補者となることができる。

2 候補者の推薦は、1会員につき1人とする。

第3条 候補者になろうとする者は、役員が選任される総会開催の日の10日前までに、推薦書を添えて事務局を通じ代表幹事に届出なければならない。

2 事務局長は、前項の規定による届出を整理し、候補者の名簿を作成しなければならない。

3 事務局長は、総会開催の日の5日前までに、前項の規定による候補者の名簿を本会ホームページに掲載しなければならない。

(選任の方法)

第4条 役員を選任は、投票によりこれを行う。ただし、候補者が定数の時は、一括で新任し、総会で議決し選任する。

2 投票権は、1会員につき1票とする。

3 やむを得ない理由のため総会に出席できない会員は、書面をもって代理人に投票を委任することができる。この場合において、委任を受けた代理人は、委任を受けた数の投票をすることができる。

(投票用紙の様式)

第5条 投票用紙には、候補者の氏名を印刷しなければならない。

2 投票用紙には、信任に付される各候補者に対する○の記号を記載する欄を設けなければならない。

(投票の方式)

第6条 会員は、信任する候補者については、投票用紙の当該候補者に対する記載欄に自ら○の記号を記載し、信任しない候補者については、投票用紙の当該候補者に対する記載欄に何等の記載をしないで、これを投票箱に入れなければならない。

(投票管理人)

第7条 投票に関する事務を行うため、投票管理人を置く。

2 投票管理人には、事務局長がこれにあたる。

3 投票管理人は、投票に関する事務を補助する者を指名することができる。

(投票の効力)

第8条 次に掲げる投票は、無効とする。

- (1) 所定の投票用紙を用いていないもの
- (2) ○の記号以外の事項を記載したもの
- (3) ○の記号を自ら記載したものでないもの

(開票)

第9条 投票管理人は、投票終了後直ちに投票を点検して、投票の効力を決定し、候補者毎に信任及び不信任の得票数を計算しなければならない

(疑義の判定)

第10条 投票に関し疑義が生じたときは、投票管理人が判定したうえ必要な処理を行う。

(当選人)

第11条 有効投票の最多数の信任を得た者以下所定の員数までの信任の得票数多数の者を当選人とする。ただし、有効投票の過半数の不信任があった者は、当選人になることができない。

2 前項の場合において、信任の得票数が同じである者があるときは、くじにより当選人を定める。

(開票結果の報告)

第12条 投票管理人は、開票が終わったときは、その結果を議長に報告しなければならない。

附 則

この規程は、平成24年6月10日から施行する。